

令和2年（2020年）の恵庭岳の火山活動

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○噴火警報・予報の状況、2020年の発表履歴

2020年中変更なし

噴火予報（活火山であることに留意）

○2020年の活動概況

・火口や噴気の状況（図1～2）

12月7日に上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）を実施しました。山頂東側の爆裂火口内では弱い白色噴気が認められ、前回の観測（2019年8月）と比べて、噴気の勢いや量、地熱域の状況に変化はありませんでした。



図1 恵庭岳 周辺図と赤外熱映像及び写真の撮影方向（矢印）

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て同院発行の『電子地形図（タイル）』を複製しています。

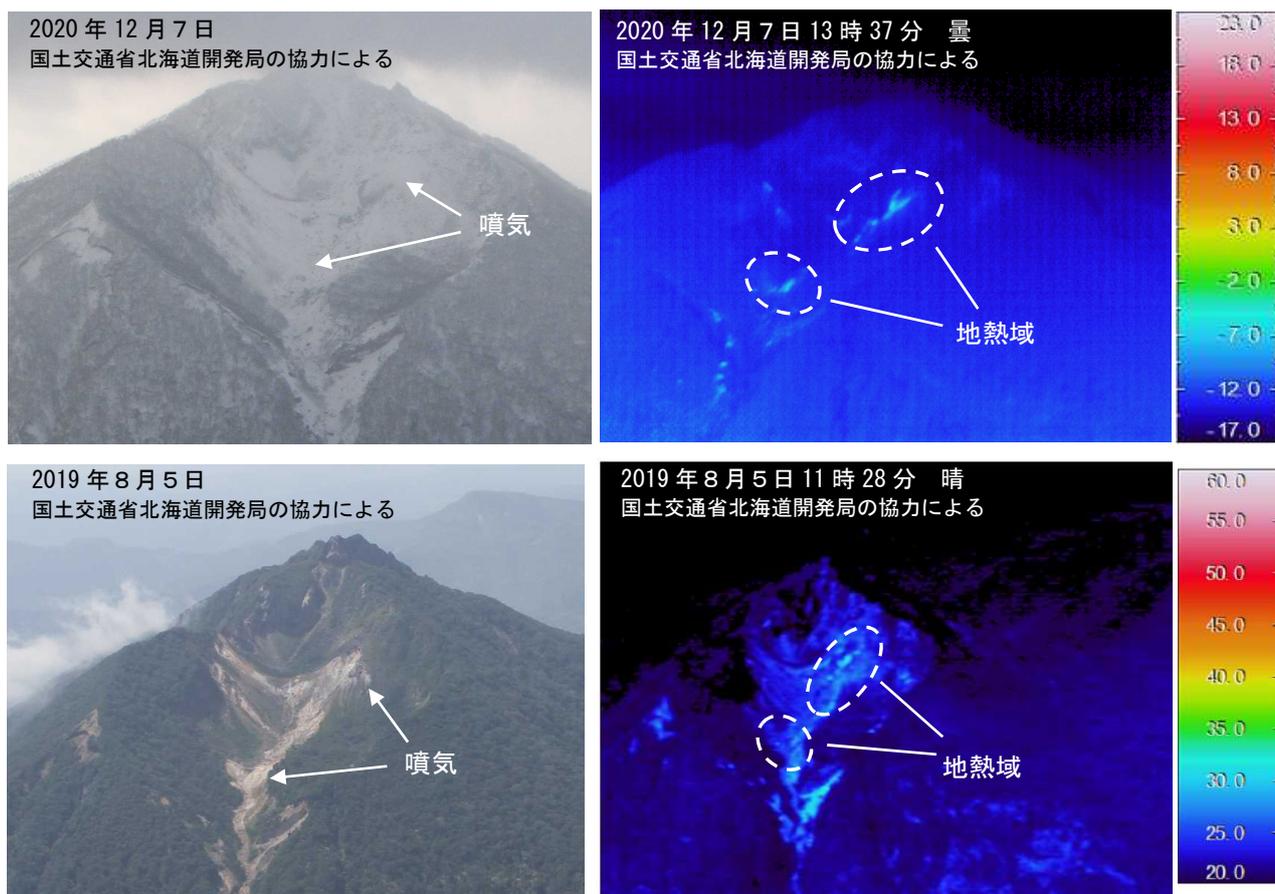


図2 恵庭岳 赤外熱映像装置による恵庭岳山頂東側爆裂火口の地表面温度分布

左上図：東北東側上空（図1の①）から撮影

右上図：北東側上空（図1の②）から撮影

下 図：北東側上空（図1の③）から撮影

- ・ 前回の観測（2019年8月）と比べて、噴気や地表面温度分布に特段の変化は認められませんでした（2019年8月の地表面温度分布には日射の影響が含まれています）。